

担当 健康長寿課 母子保健担当
内線 3561

目 的

妊娠・出産を実現するためには、若いうちから妊娠・出産や自身の健康に関する正しい知識を持ち、健康管理を意識する「プレコンセプションケア」が重要である。そのため、普及啓発や個別相談支援を実施する。
また、不妊症・不育症に関する相談支援を実施するとともに、検査費用の一部を助成し、早期に検査を受検できるよう支援する。

事業概要

1 将来の妊娠・出産及び不妊症・不育症に対する支援 100,752千円

(1) 健康教育（出前講座）・関係者向け研修会等の実施 3,344千円

- ・ 学生等を対象とした助産師等の専門職による健康教育（出前講座）を実施する。
- ・ 養護教諭・保健師・助産師等の関係者を対象とした研究会を開催する。

(2) 不妊症・不育症・妊娠・出産・プレコンセプションケアに関する相談支援等の実施 13,518千円

- ・ 不妊症・不育症について、医師による面接相談を実施する。
- ・ 治療を行っても、流産・死産等により子供を持つことができなかった方へ当事者団体による相談支援を実施する。
- ・ 市町村、保健所、医療機関スタッフ等を対象とした研修会を開催するとともに、関係機関の協議会を設置する。
- ・ 将来妊娠を考える方や関係者を対象とした、助産師等によるプレコンセプションケアに関する相談支援を行う。

(3) 相談支援スキルの強化 567千円

- ・ 関係者を対象とした研修会を実施する。

(4) 関係機関の連携強化 169千円

- ・ 関係者を対象とした研修会を実施する。
- ・ 関係機関による協議会を設置し、連携体制の強化を行う。

寄附募集事業

(5) 不妊検査・不育症検査費用への助成 124,610千円

不妊検査及び不育症検査の費用を助成し、早期の検査受検を促進する。